

# 3年道徳通信 第15号

## 第15回『私がピンク色のキャップをかぶるわけ』

水泳で全国大会を目指していた「私」は、大会のたびに同じレースで泳ぐMという選手を意識していました。しかし、あるときからMの姿が見えなくなり、Mが水泳をやめたと聞きます。

後日、届いたMからの手紙には「病気で水泳ができなくなった。おまえが行けたところまで自分も行ったと思いたい」とつづられ、「ライバルへ」と結ばれていました。「私」は一言「おまえの夢は俺が引き受けた。」と返事を書きます。それ以降、「私」はキャップをピンク色に変え、大会に臨むのでした……。部活も引退し、体育祭の練習に励むこの時期、自分の過去の経験と重ね合わせながら、思いを深めた人も多かったようです。

### みんなの意見

Mはどんなことを考えながら「私」に手紙を書いたのでしょうか。

- 自分はやりたくてもできない体になってしまったから、今まで一緒に頑張ってきた「私」に頑張してほしい。
- 自分の無念を晴らしてほしい。
- 「私」に自分の思いを託したかった。

「私」はどんな思いでピンク色のキャップをかぶっていたのでしょうか。

- Mと一緒に自分の夢を追い続けるため。Mの強い思いをわすれないように。
- Mと言うライバルを感じ続けるため。
- Mをリスペクトしているから、お守りとして。

あなたにとって「ライバル」とは？

- 競い合える良い友達。
- キーパーとしてずっと3人で頑張ってきて、僕がけがをしたときは2人が頑張ってくれて、本当にうれしかった。友達の大切さを知った。
- 一緒に戦い、一緒に競い合って、お互いに自分たちの才能を伸ばし合う良い存在。
- とともに競いともに支え合える存在。
- 勝ったらうれしいし、負けたら悔しいけど、一緒に強くなれてとても大切な存在。
- 自分を本気にさせてくれる相手。一緒に頑張れる仲間。
- 大会においてかけがえのない存在。ライバルといい関係を保とうと思った。

**友達の存在について、  
考えよう。**

